



日语阅读快速突破

主 编 殷 薇 曲英娟

主 审 张立云 宗川孝



哈尔滨地图出版社

日语阅读快速突破

RIYU YUEDU KUAISU TUPO

主 编 殷 薇 曲英娟

主 审 张立云 宗川孝

哈尔滨地图出版社

· 哈尔滨 ·

图书在版编目(CIP)数据

日语阅读快速突破 / 殷薇, 曲英娟主编. -- 哈尔滨:
哈尔滨地图出版社, 2010.8

ISBN 978-7-5465-0331-8

I. ①日… II. ①殷… ②曲… III. ①日语—阅读教
学 IV. ①H369.4

中国版本图书馆CIP数据核字(2010)第166475号

哈尔滨地图出版社出版、发行

(地址: 哈尔滨市南岗区测绘路2号 邮编: 150086)

鸡西薪隆印刷厂印刷

开本: 850 mm × 1 168 mm 1/32 印张: 8.562 5 字数: 215 千字

2010年8月第1版 2010年10月第1次印刷

ISBN 978-7-5465-0331-8

印数: 1~1 000 定价: 28.00元

前 言

日语阅读的目的主要是为了培养学生的阅读能力和社会文化知识，对象是完成日语初级和中级课程，已初步掌握日语基本语法和一定数量词汇的在校生和自学者。

本书分为五个部分，即：课文、练习、问题的启发、答案及答案的注解。

《日语阅读快速突破》题材广泛，体裁多样，既有反映时代脉搏的文章，也有介绍传统文化的佳作；既有年轻人感兴趣的话题，也有思想内涵丰富的作品。大部分节选自日本原版文章，系统地指导学生大量阅读日文文章，使之掌握阅读方法，不断提高阅读理解及分析解决问题的能力，扩大知识面，丰富语言。适合日语专业的泛读课、大学日语的阅读课和各类日语教学单位的教学，也可供广大日语自学者使用和作为阅读理解的自测题使用。本书的难度为国际能力四级到一级的过渡，难度逐步加大。为了方便教学，答案中都大部分注释了问题的解析思路。

本书由鸡西大学殷薇、曲英娟担任主编。具体编写分工如下：第一章、第二章、第六十八章至第九十章、第九十六章至第一百章由殷薇完成，第三章至第六十七章、第九十一章至第九十五章由曲英娟完成。由殷薇负责本书的结构设计和统稿工作。

本书经反复推敲编辑而成，在编写过程中得到日籍教师宗川孝老师、张立云教授的悉心指导，在此表示衷心的感谢。限于时间和学识，书中定有疏漏和错误之处，希望使用本教材的教师、学生提出宝贵的意见，以便我们不断完善。

编者
2010年8月

目 录

第 1 章	雨の夜のるすばん(一)	1
第 2 章	雨の夜のるすばん(二)	2
第 3 章	雨の夜のるすばん(三)	3
第 4 章	雨の夜のるすばん(四)	3
第 5 章	ポレポレ(一)	4
第 6 章	ポレポレ(二)	5
第 7 章	ポレポレ(三)	6
第 8 章	ポレポレ(四)	7
第 9 章	ガオーツ (一)	8
第 10 章	ガオーツ (二)	9
第 11 章	海、売ります (一)	10
第 12 章	海、売ります (二)	11
第 13 章	海、売ります (三)	12
第 14 章	海、売ります (四)	13
第 15 章	ごんぎつね (一)	13
第 16 章	ごんぎつね (二)	14
第 17 章	ごんぎつね (三)	15
第 18 章	ごんぎつね (四)	16
第 19 章	おせんべ 焼けたかな (一)	17
第 20 章	おせんべ 焼けたかな (二)	18
第 21 章	奇妙な湖——死海	19
第 22 章	オゾン——地球の守り神	20
第 23 章	雪の形態変化について	22
第 24 章	霜の世界	23
第 25 章	わたり鳥のひみつ	24
第 26 章	人間に知恵を考える星	25

第 27 章	動物の進化について.....	26
第 28 章	雲の形成について.....	27
第 29 章	日本の橋について.....	28
第 30 章	種子の旅.....	29
第 31 章	雨蛙の色変わり方.....	31
第 32 章	造船所の現図場について.....	32
第 33 章	読書の方法.....	33
第 34 章	動物の保護色.....	34
第 35 章	クジラの生存の原理.....	35
第 36 章	立山の風景.....	37
第 37 章	ざくら.....	38
第 38 章	植物.....	39
第 39 章	ゴキブリを調べる.....	40
第 40 章	帰ってきたナチ.....	42
第 41 章	らくだはさばくへ.....	43
第 42 章	フランダースの犬.....	44
第 43 章	大きな白かば.....	45
第 44 章	少年駅伝夫.....	46
第 45 章	おもちゃの国で.....	48
第 46 章	お母さんの顔.....	49
第 47 章	星.....	50
第 48 章	話すことと書くこと.....	52
第 49 章	げんごろう.....	53
第 50 章	能力の限界を知る.....	54
第 51 章	こけし.....	56
第 52 章	人間同士.....	57
第 53 章	それでも明日が来る.....	58

第 54 章	ことばへの旅.....	59
第 55 章	恩師の志.....	61
第 56 章	知識と考え.....	62
第 57 章	うぐいす.....	64
第 58 章	暮らしと道.....	65
第 59 章	さんちき.....	67
第 60 章	自己發現.....	69
第 61 章	不思議な言葉言葉の不思議.....	70
第 62 章	母グマ.....	72
第 63 章	子グマと母グマ.....	73
第 64 章	折田君の靴.....	74
第 65 章	本当の喜び.....	75
第 66 章	悪口.....	82
第 67 章	脳のはたらき.....	83
第 68 章	羽仁進の世界歴史物語.....	85
第 69 章	もしも病気になったら.....	90
第 70 章	久助君と兵太郎君.....	93
第 71 章	泣き虫先生とムカデ君たち.....	98
第 72 章	都市の野鳥誌.....	100
第 73 章	藤の木岩の三銃士.....	103
第 74 章	六ペンスの奇跡.....	112
第 75 章	ニュートン家の食卓.....	116
第 76 章	地球をこわさない生き方の本.....	118
第 77 章	次郎物語.....	119
第 78 章	砂漠のロバ.....	121
第 79 章	チュリーブラッサム.....	124
第 80 章	現代日本を聞こう.....	127

第 81 章	かすみ草のおねえさん.....	129
第 82 章	ひとりで渡ればあぶくない.....	132
第 83 章	日本人のころ.....	135
第 84 章	読書の値うち.....	140
第 85 章	ことばの四季.....	144
第 86 章	碧い眼の太郎冠者.....	148
第 87 章	生きること学ぶこと.....	152
第 88 章	メガネのはなし.....	158
第 89 章	自分らしく生きる.....	162
第 90 章	日本語.....	166
第 91 章	疎開地.....	170
第 92 章	春は馬車に乗って.....	173
第 93 章	夜中の薔薇.....	175
第 94 章	日本の素顔.....	178
第 95 章	あの笑いこけた日々.....	180
第 96 章	インターネット.....	182
第 97 章	女の男性論.....	186
第 98 章	子どもとは何か.....	189
第 99 章	病気=病い.....	195
第 100 章	アメリカ素描.....	200
	解答.....	204

第1章 雨の夜のるすばん(一)

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

[るすばんをしていた「ぼく」と弟は、田植えから帰ってくる両親のために、おかゆをたこうと思いつきました。]

米びつの中には、大・中・小の三種類のますが入っていました。まず、大きなますで二はいはかりました。二はい目は、ますがそこをかすりました。見ている弟が□をかしげました。「母さんはたしか三ばいはかってたよ。どのますやったかなあ。」

「そか、そういえば少ないかな。ようし、おまけして中ますをもう一ばい。」弟も乗り出して、

「ついでや兄ちゃん。ちっこいますも一ばい入れたってよ。」

「よしきた、がってん。」

川村たかし「雨の夜のるすばん」平成十五年度版大阪書籍「小学国語 4上」より

問一 □にあてはまる言葉を漢字一字で書きましょう。

問二 「乗り出して」から、弟のどんな様子がわかりますか。記号を○で囲みましょう。

ア 調子に乗っている様子。

イ 不安でしかたない様子。

ウ 後かいしている様子。

問三 「ぼく」と弟は、結局、ますで何ばいの米をたくことにしましたか。大きさごとにそれぞれ書きましょう。

大のます... ()

中のます... ()

小のます... ()

第2章 雨の夜のるすばん(二)

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

弟がのどにひっかかったような声で、ぼくをよびました。

ふり返ると、「ふたが、ふたが。」と指さしながら、小さくふるえています。

「だれもさわれへんのに、(1) かまのふたがすすつと動いた。」

(2) ぼくのせなかを、つめたい水のようなものが、つと走りました。が、ここは一年生をおびえさせてはなりません。

「心配すんな、まかせとけ。」

のぞきこんだぼくは、(3) あんぐりと口を開けました。ぎっしりふくれあがった米つぶが、ふたをおし上げているのです。

川村たかし「雨の夜のるすばん」平成十五年度版大阪書籍「小学国語 4上」より

問一 傍線部(1)「かまのふた」を動かしていたのは、実さいには何でしたか。

問二 傍線部(2)「ぼく」のどんな様子がわかりますか。記号を○で囲みましょう。

ア 少しもこわがらず、はり切っている様子。

イ 本当はこわいけれど、強がっている様子。

ウ こまってしまい、ぼんやりしている様子。

問三 傍線部(3)「あんぐりと口を開けました」から、「ぼく」のどんな様子がわかりますか。記号を○で囲みましょう。

ア びっくりしている様子。

イ こわがっている様子。

ウ なっ得している様子。

第3章 雨の夜のるすばん(三)

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔「ぼく」と弟は、ふくれあがった米をかまの中から何ばいもすくい出しました。しかし、うまくいきませんでした。〕

やがて荷車を牛に引かせた父さんと母さんが帰ってきました。とっくに八時を過ぎていました。

母さんが入ってきました。家の中は、いっぺんにあたたかくなりました。

「えらいこととしてしもうたんよ。」弟は、かまどの方を指さしました。やっぱり半にえのおかゆが、ふたの下からふつふつと顔をのぞかせています。

柱のかげで小さくなっていたぼくも、おそろおそろ出ていきました。

川村たかし「雨の夜のるすばん」平成十五年度版大阪書籍「小学国語 4上」より

問一 るすばんの心細さが消えて、「ぼく」と弟がほっとしていることがわかる一文をさがし、初めの四字を書きぬきましょう。

問二 「えらいこと」とは、どんなことですか。

()をたいが、()にしてしまったこと。

問三 母さんが家に入ってきたとき、「ぼく」はどうしていましたか。

第4章 雨の夜のるすばん(四)

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「失敗や、かんにん。食べられへんおかゆ、たいてしもうた。」
そのとき、ふいにぼくらはだきよせられました。

「二人ともありがとう。ようたいてくれた。失敗？ああ、母さんにはうれしい失敗や。」

母さんは目を赤くして、ぼくらの前にしゃがみこむと、もう一度、息がつまるほど、だきしめました。雨にぬれた母さんはしめった土のおいが立ちこめていました。

川村たかし「雨の夜のるすばん」平成十五年度版大阪書籍「小学国語 4上」より

問一 「ふいに」の意味を次から一つ選んで、記号を○で囲みましょう。

ア やはり イ すぐに ウ とつ然

問二 母さんは、「ぼくら」のしたことを、どんな言葉で言い表しましたか。六字で書きぬきましょう。

問三 母さんは、「ぼくら」をどのようにだきしめましたか。
() くらい強くだきしめた。

問四 母さんがなみだぐんでいることがわかる六字の言葉を書きぬきましょう。

第5章 ポレポレ(一)

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ピーターは、すぐにクラスの人気者になった。

ある日、ろうかを走っていた五、六人のグループに向かって、ピーターが言った。

「ポレポレでいこうよ。」

ポレポレというのは、スワヒリ語でゆっくりとか、のんびりという意味だそうだ。

日本語で「ろうかを走るな。」と言えば、「よけいな世話だ。」と、けんかになるかもしれない。でもポレポレなら、なんとなくユーモアがあって、おもしろい。

、みんなはポレポレという言葉が気に入って、クラスじゅうではやりだした。

西村まり子「ポレポレ」平成十五年度版学校図書「小学校国語 四上」より

問一 ピーターは、どんな感じで「ポレポレでいこうよ。」と言ったと考えられますか。記号を○で囲みましょう。

ア あきれた感じ。 イ きつい感じ。 ウ 明るい感じ。

問二 ピーターに「ポレポレでいこうよ。」と言われた人たちは、どうしたと考えられますか。

() のをやめた。

問三 に合う言葉を次から一つ選んで、記号を○で囲みましょう。

ア それでも イ それとも ウ それから

第6章 ポレポレ(二)

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

[夏休みの前の夜、同じクラスのいずみがゆくえ不明だと知った「ぼく」とピーターは、いずみをさがしにいった。]

ピーターはライトを持って先に歩き、ぼくはかにかまれながら、後ろからついていった。

てん望台の中に入ると、お化けが出てきても不思議じゃないような暗さだった。柱にまきついたらせん階だんが、ぼくのこわさをふくらませた。

ぼくがピーターのティーシャツを引っばるのと、ピーターがふり返ったのと、同時だった。

上の方から、女の子のすすり泣く声が聞こえた。

西村まり子「ポレポレ」平成十五年度版学校図書「小学校国語 四上」より

問一 てん望台の中の様子が、たとえを使って書かれている一文をさがし、初めの四字を書きぬきましょう。

問二 こわくなった「ぼく」は、どうしましたか。

問三 てん望台の中にいずみがいたことが想ぞうできる一文をさがし、初めの四字を書きぬきましょう。

第7章 ポレポレ(三)

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

らせん階段を上ると、待ちかねたいずみが、ピーターに飛びついてきた。

「ピーター……、こわかった、こわかったー。」

いずみの顔がみるみるうちにゆがんできた。

「だいじょうぶ、もうだいじょうぶ。」

ピーターは、いずみのせなかを軽くたたいた。

いずみの気持ちが落ち着くのを待って、ぼくは言った。「どうして、こんな所にいるんだよ。」

いずみはピーターからはなれると、早口で答えた。

「置いていかれたのよ。ここからおもしろいものが見えるって、さそわれて。」

西村まり子「ポレポレ」平成十五年度版学校図書「小学校国語 四上」より

問一 傍線部のいずみのどんな様子がわかりますか。記号を○で囲みましょう。

ア ほっとして、泣き出した様子。

イ こわい顔になった様子。

ウ おこり出した様子。

問二 いずみは、「ぼく」のしつ問にどんな様子で答えましたか。
○で囲みましょう。

ア にこにこして イ 落ち着いて ウ ひどくあせって

問三 上の文章を二つに分けるとすると、どこで分けられますか。後半の初めの五字を書きぬきましょう。

第8章 ポレポレ(四)

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

[クラス委員のいずみは、給食当番などのとき、行動がおそい子たちにきつ
いことを言ってきた。その子たちが、高い所が苦手ないずみを、てん望台に
置き去りにしてしまったのだった。]

三人の女の子たちは、泣きながらいずみにあやまり、「まさか、
あのままでん望台にいたなんて、(1) 信じられない。」女の子の
一人が言った。

いずみは何回も下りようとした。だけど、こわくて下りられな
かったそうだ。

いずみが、

「わたし、クラス委員としてがんばろうと思って、無理してあ
せってたみたい。これからは、(2) ポレポレ、でいくから。」ご
めんなさい、と女の子たちと仲直りをした。

西村まり子「ポレポレ」平成十五年度版学校図書「小学校国語 四上」より

問一 てん望台に残されたいずみのことが書かれている一続き
の二文をさがし、初めの四字を書きぬきましょう。

問二 傍線部(1)の「信じられない。」は、どんな感じで言っ
たと考えられますか。記号を○で囲みましょう。

ア 元気で、明るい感じ。 イ 反省している感じ。

ウ 冷たい感じ。

問三 傍線部(2)の「ボレボレ」は、ここではどんな意味で使われていますか。○で囲みましょう。

ア たがいのちがいを受け入れる心のゆとり。

イ みんなで何かをするとき、最後に残ること。

ウ がんばらないこと。

第9章 ガオーッ (一)

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

朝の光が木の葉にはんしゃして、動物園じゅう、緑の光であふれています。

もうすぐ開園時間です。それなのに、ライオンは、おりの中でぐったりしています。「ファホーッ。」ときどきお起き上がってほえてみますが、声がよく出ません。

「ファホーッー。まずいぞ、こりゃあー。」

ガオーッとほえたつもりでも、ファホーッになってしまいました。「きのう、あんなにほえるからだよ。」

ライオンのおりのとなりで、クロヒヨウが言いました。朝ごはんを食べたばかりで、口のまわりをぺろぺろなめながら、しゃべっています。

斉藤洋「ガオーッ」平成十三年度版光村図書「国語 四上」より

問一 ライオンの元気がない様子が最もよくわかる一文をさがし、初めの四字を書きぬきましょう。

問二 ライオンは、なぜ、声がよく出ないのですか。かん単にまとめて書きましょう。

問三 傍線部のクロヒヨウのどんな様子がわかりますか。記号を○で囲みましょう。

ア ライオンのことを心配している様子。